

平成27年11月26日(木)
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

平成27年度第5回 関東地方整備局事業評価監視委員会の開催結果について

関東地方整備局では、平成27年11月25日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、再評価案件7件は、対応方針(原案)のとおり了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、
千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151 (代表)

FAX. 048-600-1372

企画部 技術企画官 いしおか石岡 つとむ勉 (内線3126)

企画部 企画課 課長補佐 たかはし高橋 いわお岩夫 (内線3153)

(別紙)

平成27年度第5回 関東地方整備局事業評価監視委員会

議事概要

1. 日 時 平成27年11月25日(水) 16:00~18:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」

3. 出席者

[委員長]

家田 仁 (東京大学・政策研究大学院大学教授)

[委員]

大野 栄治 (名城大学都市情報学部教授)

楓 千里 (株式会社 JTB パブリッシング取締役ノジュール事業担当)

清水 義彦 (群馬大学大学院理工学府教授)

堤 マサエ (山梨県立大学名誉教授)

横木 裕宗 (茨城大学工学部都市システム工学科教授)

若松 加寿江 (関東学院大学理工学部教授)

[特別委員]

青山 佳世 (フリーアナウンサー)

(敬称略、五十音順)

[関東地方整備局]

局長 石川、副局長 藤井、総務部長 岩下、企画部長 安田、
河川部長 光成、道路部長 村山、営繕部長 吉野、用地部長 金子 他

[独立行政法人水資源機構]

理事 自閑、ダム事業部長 桜井 他

[東日本高速道路株式会社]

建設・技術本部長 遠藤、関東支社支社長 横山、
関東支社建設事業部長 田中 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価

a 対象事業の概要説明

- ・ 河川事業4件、道路事業3件の概要説明

b 対応方針（原案）の審議

- ・ 事務局より説明された再評価案件7件は、対応方針（原案）のとおり了承する。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針(原案)	審議結果
河川		多摩川総合水系環境整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		相模川総合水系環境整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		譲原地区直轄地すべり対策事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		思川開発事業	独立行政法人水資源機構	継続	対応方針(原案)のとおり了承
道路		一般国道4号 東埼玉道路(延伸)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道16号 保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
	○	一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	対応方針(原案)のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業